

「第2回 小樽市雪対策基本計画策定 分科会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年8月8日 13:30～15:25

場所：市立図書館 2階視聴覚室

出席者：委員17名

傍聴者： 2名

事務局： 2名

○：委員からの意見等
→：事務局の意見等
()：補足説明

1 貸出ダンプ制度について

- 助成金制度やパートナーシップ制度等は、すぐ実施したいのか、将来的なのでしょうか。
→将来的な提案であり、拙速には行わないと考えています。
- 玄関前や車庫前の雪は、その都度の処理が大変なので、空地や道路脇に堆積する場合もある。この場合、道路以外の雪となるのでしょうか。
→道路上の雪が対象となり、敷地内の雪が道路以外の雪となります。
- 貸出ダンプ制度の利用は、町会内の各区が主体となっているので、町会は関わっていない。助成金制度やパートナーシップ制度に移行に町会が関わる必要があれば問題と思う。区でも対象となるのでしょうか。
→町会の関わり方が今後のポイントと認識している。市としては、パートナーになるのは町会と考えています。
- 今後は、町会が関わっていく必要があると想定、検討することでよいのでしょうか。
→その様に認識していただくと、大変助かります。
- 助成金制度とパートナーシップの違いは何でしょうか。
→助成金制度は、事業主体が町会等の団体であり、パートナーシップ制度は、事業主体が市となります。事業主体の違いが制度の違いです。
- 助成金制度の事業主体は、町会等の団体とあるが、町会の関わりが大きくなるのでしょうか。
→町会の関わりが大前提となります。
- 貸出ダンプ制度の利用に私の町会は関わっていないので、今後の課題になると思います。
- 課題①、②の取組（案）は同じような取組でしょうか。
→課題①は公費負担で支払う部分とそうでない部分との区分け（場所等）です、課題②は、費用負担についてです。（市と利用団体）
- 貸出ダンプ制度の利用回数について、近年の小雪だと1回で問題ないが、多い年では1回の利用では生活に影響があります。例外も検討してほしい。

2 砂まきボランティアについて

- 砂まきボランティアは、砂箱の補充と違うのか。
→砂箱補充は、市民からの依頼や道路パトロール等で砂箱が空になった際、地域総合除雪に受託者が補充します。
砂まきボランティア制度は、市民の方に登録していただくと、市の職員が直接、個別に砂袋を配達しています。

- 配達作業の効率化、省力化は大変いいと思う。町会等団体への配達として、町会の会館を拠点として利用するのも一つの案として良いと思います。
町会も数名が登録して、それぞれが何個かでも配るよう検討しています。
効率化、省力化として、市の職員の負担も軽くなり、本来業務に力を注げればと思います。

3 ロードヒーティング整備の助成（歩道）について

- 熱源によって助成は制限されるのでしょうか。
→特に熱源の制限はありません。
- もう、ほとんど整備済みなのかと思います。維持管理を含めて、経済的に余裕のある方が多いと思います。しかし、この制度を廃止するのはいかがと思うので、（年間の予算が10万円程度であれば）そのまま良いと思います。

4 大型機械作業のできない場所の除雪について

- 自治基本条例の協働のまちづくりとしては良いと思うが、人口減や町会役員の高齢化を考えると、高齢で小型除雪機の使用が危険だということで、民間業者に依頼している箇所もあります。
町会で所有した場合、誰がやるのか、保管するのか、除雪する場所によっては苦情も出ます。私の町会では高齢化などで、（小型除雪機を使用する除雪作業の）対応が困難となっています。
- 地域が協力して業者に依頼して除排雪している箇所があります。そのため、各戸の負担が大きく、今後の不安もあります。
協働をアピールするのであれば、実態を踏まえたPRをしてほしい。
出来るところは、既に行っている地域もあります。
地域の交通安全を考えたらうえて、地域内で交代しながら（小型除雪機を使用して）除雪していますので、地域の負担を軽減できるのであれば、小型除雪機の購入または借上げの支援を検討してほしい。
- ロードヒーティングに助成するなら、地域で除排雪する場合の助成も検討してほしい。

5 雪押場、雪置場の確保について

- 雪押場等における固定資産税の減免等とあるが、実施はいつでしょうか。
→あくまで検討段階であるため、令和2年度中に基本計画が完成した場合、それ以降となります。

6 町会活動を支える担い手の確保について

- 市職員の支援は大変良いと思う。
- 各町会での役員の人材不足があるので、市の職員も積極的に参画してほしい。
今度、市長に会ったら伝えようと思っていたので、伝えてほしい。
→市の職員に対しても、町会支援を呼びかけたいと思います。

7 その他

- 流雪溝について、検討できないでしょうか。
- 私も流雪溝が一番いいと思うが、小樽は山坂があり急勾配だと上手く雪が流れないと聞いたことがあります。
→流雪溝は、勾配や一定の水量も必要となる。維持管理の面でも、人が落ちたなどの安全面での問題もあるので、市としても、流雪溝を設置するのは難しいと思います。
- 8月23日に開催される懇話会は傍聴できるのか
→今日と同じ場所で、午後2時から開催しますので、傍聴できます。